

参加費無料  
事前予約不要

## 講演会 (通訳付)

# 「無実の人を救え！」 ～イノセンス・プロジェクト」

イノセンス・プロジェクトとは、アメリカのロー・スクール(法科大学院)で始まったプロジェクトであり、DNA型鑑定を駆使して多くの無実の者を救ってきた。

DNA型鑑定によって無実を証明した者は2013年8月末の時点で311人(うち18人が死刑囚)に達している。今回、生命山シュバイツァー寺代表古川龍樹氏の尽力により、九州で発生した福岡事件の再審請求全国キャンペーンのゲストスピーカーとしてアメリカから3名の講演者が招聘された。

日時・場所

平成25年 **10.24(木)**

午後5時30分～午後8時30分(午後5時開場)

## 山陽新聞社本社ビル さん太ホール

(岡山市北区柳町2-1-1)

会場周辺地図とアクセス

- JR岡山駅から徒歩15分(市役所筋を南へ下る)
- 路線バス5分(「山陽新聞社前」下車)



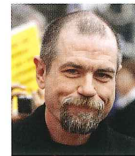
### 講演者の紹介

#### フェルナンド・バミュデズ氏



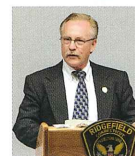
1991年に発生した少年殺害事件で逮捕・起訴され、23年の刑を言い渡された。その後、目撃者達が次々と証言を覆し、18年後の2009年に無罪となり釈放された。現在、イノセンス・プロジェクトのゲストスピーカーとして国内外で活動。

#### カーティス・マッカーティ氏



1982年に発生した女性殺害事件で女性の知人であったマッカーティ氏は容疑者となり、被害者に付着していた精液の血液型がマッカーティ氏と一致するとして警察の鑑定結果と検察官の証拠隠滅により、殺人罪で死刑判決を受けた。2002年、マッカーティ氏の担当弁護士は、被害者に付着していた精液のDNAがマッカーティ氏のものとは異なることを証明し、翌年イノセンス・プロジェクトも協力。2005年、再審が開始され、2007年、21年ぶりに釈放が認められた。

#### ジョージ・ケイン氏



西コネチカット州立大学、正義と法の管理部准教授。コネチカット州リッジフィールド Police Commission (警察を監督する委員会) 委員長と同州死刑廃止ネットワーク理事長も務め、死刑は経済的に非効率であり、被害者の苦痛を和らげるものでないとして死刑廃止を訴えている。

#### 宮本 弘典氏

関東学院大学法学部教授。刑法、刑法史専攻。著書に「転落白白」(共著、日本評論社)、「冤罪・福岡事件」(共著、現代人文社)等。

□主催/岡山弁護士会 □共催/中国地方弁護士会連合会

●お問い合わせ先/岡山弁護士会(岡山市北区南方1-8-29) TEL:086-223-4401 www.okaben.or.jp

岡山弁護士会

検索